

# 五条広域事務組合斎場建設基本設計業務 プロポーザル選定結果報告書

平成29年11月

五条広域事務組合斎場建設基本設計業務  
プロポーザル選定委員会

## 1 はじめに

斎場建設工事にあたり、優れた設計者を選定するとともにその選定方法の公平性、透明性を図るため、公募型プロポーザル方式により広く提案を求め、この業務に最も適した設計業務委託候補者を選定し、特定しましたので、これまでの経過及び結果をここに報告します。

## 2 選定委員会委員（順不同・敬称略） 10名

委員長	豊田 洋一	中部大学工学部建築学科教授
副委員長	砂原 和幸	愛知県建設部建築局公共建築課長
委員	宮崎 稔	清須市企画部長
委員	後藤 幹寿	あま市企画財政部長
委員	市民代表6名	清須市3名 あま市3名

## 3 特定までの経過

平成29年 7月 6日（木）	第1回選定委員会
平成29年 7月12日（水）	プロポーザル公告
平成29年 7月19日（水）	質問提出期限
平成29年 7月27日（木）	質問回答
平成29年 8月 2日（水）	参加表明書等の提出期限
平成29年 8月 3日（木）	第一次審査
平成29年 8月10日（木）	第一次審査結果の公表及び選定通知
平成29年 9月14日（木）	技術提案書等の提出期限
平成29年10月 6日（金）	第2回選定委員会 第二次審査（技術提案書等）
平成29年10月12日（木）	第3回選定委員会 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）
平成29年10月19日（木）	第二次審査結果の公表及び選定通知

## 4 技術提案書等提出要請者

- ・株式会社 内藤建築事務所 名古屋事務所
- ・株式会社 山下設計 中部支社
- 他3者

## 5 選定結果

最高得点者：株式会社 内藤建築事務所 名古屋事務所	78.96点
次点者：株式会社 山下設計 中部支社	74.06点

事業者	選定結果		事業者名（最高得点者及び次点者のみ）
V	74.06	次点者	株式会社 山下設計 中部支社
W	53.64		
X	55.88		
Y	62.24		
Z	78.96	最高得点者	株式会社 内藤建築事務所 名古屋事務所

## 6 総評

斎場建設については、平成28年度に策定された『斎場建設基本計画（案）』に基づき、構成市市民の協働によるものであることを念頭に事業を進める必要があり、また近年における斎場の態様に即した施設を整備することも重要なテーマであると考えます。

これらの基本的な考え方を踏まえ、斎場建設の基本設計に最も適した設計者を選定するため公募型プロポーザルを実施した。なお、審査については、五条広域事務組合斎場建設基本設計業務プロポーザル選定委員会設置要綱に基づき、学識経験者2名、構成市市民の代表者6名、清須市企画部長、あま市企画財政部長の計10名で構成される選定委員会によって行われた。

平成29年7月6日開催の第1回選定委員会では、委員長及び副委員長を選出したうえで、斎場建設基本設計業務プロポーザル実施要項等について審議し決定した。

平成29年7月12日に公募型プロポーザルの公告を行い、平成29年8月2日までに参加表明書の提出があった5者について、参加資格、事務所の能力及び技術者の能力を事務局で審査し、その結果を受け、全5者を技術提案書等の提出を求める者として決定した。

平成29年10月6日開催の第2回選定委員会では、平成29年9月14日の提出期限までに技術提案書等の提出があった全5者とも、第二次審査として提出者の会社名等を伏せて、技術提案書等の内容を協議し、個々の委員において評価し仮採点を行った。

平成29年10月12日開催の第3回選定委員会においても、提出者の会社名等は伏せて、5者それぞれが技術提案書等の内容に沿って10分間のプレゼンテーションを行った後、提案内容を十分確認できるよう選定委員との質疑応答を15分間行った。

その後、選定委員による慎重な討論を経て本採点を行い、最高得点者及び次点者を決定した。

本委員会では評価にあたり、『斎場建設基本計画（案）』を踏まえ設定された6つの視点、ア 基本コンセプト、イ 周辺環境と調和し、人と自然に優しい施設、ウ 人の生死や尊さを実感できる施設、エ 機能的で利便性の高い施設、オ 効率的で安全・安心な事業運営できる施設、カ 取組体制、に対する各者の提案内容を厳正かつ公平に審査した。

5者の技術提案書等は、これらの提案項目に対して真摯に向き合い熟考された、全体として質の高い提案であった。

その中で最も高い評価を受け、基本設計業務受託予定者に選定された、株式会社内藤建築事務所名古屋事務所の提案は、①告別・収骨室及び待合室を雁行させたレイアウトで個別性を高めプライバシーに配慮、②周囲からの景観に配慮するとともに場内葬送関係者への視線に配慮した外構計画、③葬送における各シーンに応じた心情に寄り添う空間づくり、④葬送者同士の動線交差軽減を考慮した入場時の主玄関と退場時のお帰り玄関設置の提案、などの特徴的な提案が高い評価を受け、またプレゼンテーション及び質疑応答の場においても明確な説明が高く評価された。

なお、今後の検討課題として、安全安心な施設計画の中で、防災拠点と同等の構造強度を有する「重要度係数 1.5」とした構造計画の提案については、当該施設は国交省の定めによる耐震安全性の分類Ⅱ類である「重要度係数 1.25」での耐震性能が要求されていることから、過度な構造強度ではないかとの意見も散見された。今後検討の余地があると考えられるので、基本設計を進めるにあたり関係者と密に協議することを求める。

次点となった株式会社山下設計中部支社については、第一次審査で最高点を得ており、第二次審査の技術提案書審査においても、建物の高さを抑えるため平置き式火葬炉の提案など高い評価を受けたが、合計点数で次点となった。

最後に、プロポーザルに参加された皆様には、提案課題の他「住民協議の決定事項」遵守という厳しい条件の中、提案書の作成等に多大な時間と労力を費やされ、個々に特筆される個性的な技術提案をしていただいたことに敬意を表し感謝申し上げますとともに、今後設計において『斎場建設基本計画』が具現化したものとなり、構成市市民にとって利便性及び機能性及び安全性を備えた厳かで心の安らぐ斎場として利用されることを、選定委員一同心より祈念する。

五条広域事務組合斎場建設基本設計業務プロポーザル選定委員会  
委員長 豊田 洋一